

過去の災害に関する主な文献やデータベース

図書

- 寒川 旭 1992『地震考古学―遺跡が語る自身の歴史』中公新書
寒川 旭 1997『揺れる大地―日本列島の地震史』角川書店(同朋舎)
伊藤和明 2004『地震と噴火の日本史』岩波書店
寒川 旭 2011『地震の日本史―大地は何を語るのか』中公新書
寒川 旭 2011『日本人はどんな大地震を経験してきたのか』平凡社新書
保立道久 2012『歴史のなかの大地動乱』岩波新書
寒川 旭 2013『歴史から探る 21 世紀の巨大地震』朝日新書
保立道久・平川新・成田龍一 2013『日本列島 地震の 2000 年史』朝日新聞出版
磯田道史 2014『天災から日本史を読みなおす―先人に学ぶ防災』中公新書
高橋和雄 2014『災害伝承』古今書院
文化庁編 2017『日本人は大災害をどう乗り越えたのか』朝日新聞出版
金田章裕 2020『地形と日本人』日経 B P
加納靖之・杉森玲子・榎原雅治・佐竹健治 2021『歴史のなかの地震・噴火―過去がしめす未来』
東京大学出版会
佐藤翔輔 2021『災害伝承の大研究』PHP 研究所
山賀 進 2025『増補改訂版 日本列島の地震・津波・噴火の歴史』ベレ出版

データベース等

- 内閣府「災害史・事例集」 <https://www.bousai.go.jp/kyoiku/kyokun/index.html>
消防庁「全国災害伝承情報」 <https://www.fdma.go.jp/publication/database/database009.html>
国土交通省「防災学習ポータルサイト」 <https://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/>
国土地理院「自然災害伝承碑」 <https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi.html>
防災科研「災害事例データベース」 <https://dstr.mhr.bosai.go.jp/dedb/>
防災科研「災害記念碑デジタルアーカイブマップ」
<https://dstr.mhr.bosai.go.jp/disaster/sekihi/index.html>
防災科研「災害・研究成果データベース」
https://www.bosai.go.jp/activity_special/disaster_research_database.html
産総研「津波堆積物データベース」 https://gbank.gsj.jp/tsunami_deposit_db/
奈文研「遺跡災害情報ポータルサイト」 <https://hde-gis.nabunken.go.jp/map/>
東京大学地震火山史料連携研究機構「地震史料集テキストデータベース」
<https://materials.utkozisin.org/>
東北大学災害科学国際研究所「データベース」 <https://irides.tohoku.ac.jp/publication/database/>
消防防災博物館 <https://www.bousaihaku.com/town/9851/>
NIPPON 防災資産 <https://www.mlit.go.jp/river/bousai/bousai-shisan/index.html>

**遺跡・災害痕跡調査と地名・伝承の比較検証を通じた防災施策立案、
防災教育推進のための調査研究委員会の設置要項**

令和7年 8月 5日
文化財第二課長決定

1. 目的

埋蔵文化財の発掘調査では、地震による噴砂や地割れ、火山噴火等により発生した土石流、津波や洪水等、様々な災害痕跡が発見されている。また、災害に関わる史料や伝承、慰霊碑、防災を祈念した信仰遺跡等も全国各地に存在している。これらの文化財は、人々の災害の記憶を現在に伝える貴重な歴史遺産である。

しかしながら、災害の記録や記憶を総合的・多角的に検討した研究はさほど行われておらず、防災教育等、社会に十分に還元できているとは言えない状況にある。そのため、「遺跡・災害痕跡調査と地名・伝承の比較検証を通じた防災施策立案、防災教育推進のための調査研究委員会」（以下「委員会」という。）を設置し、人文科学、自然科学の双方から、災害に係る遺跡や地名・伝承等の調査研究を行い、その成果を防災教育やまちづくりに活かすことを目的とする。

2. 検討事項

- (1) 災害に係る遺跡の調査に関する事項
- (2) 災害に係る伝承・地名等の調査に関する事項
- (3) 災害に係る文化財を防災教育等に活かすための方法に関する事項
- (4) その他関連事項

3. 構成

- (1) 委員会は、学識経験者により構成する。
- (2) 委員会は、互選により委員長を選出する。委員長に事故があるときは、あらかじめその指名する副委員長が、その職務を代理する。
- (3) 委員会には、必要に応じ、委員以外の学識経験者又は地方公共団体担当者等の出席を求めることができる。

4. 庶務

委員会に関する庶務は、文化財第二課で処理する。

遺跡・災害痕跡調査と地名・伝承の比較検証を通じた防災施策立案、
防災教育推進のための調査研究委員会委員名簿

(敬称略、五十音順、令和7年10月現在)

【委員】

- ◎赤司 善彦 大野城心のふるさと館館長
- 桂 雄三 日本ジオパークネットワーク理事
- 佐藤 翔輔 東北大学災害科学国際研究所准教授
- 村田 泰輔 奈良文化財研究所主任研究員
- 山崎新太郎 京都大学防災研究所准教授
- 綿貫 友子 神戸大学大学院経済学研究科教授

【オブザーバー】

- 永井 利憲 滋賀県文化スポーツ部文化財保護課課長
- 山本 誠 公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部次長

◎ 委員長 ○ 副委員長

検討経過

令和7年10月23日（木）

第1回委員会 事業の目的・主旨と今後の進め方について
文化財を防災教育に活かすための提言案の検討

11月4～25日 報告書案に係る意見聴取

令和8年2月17・18日（火・水）

第2回委員会 委託事業先の視察と関連遺跡等の視察（滋賀県彦根市・長浜市・高島市）
報告書案に関する意見交換

3月17日（火）

第3回委員会 報告書案のとりまとめ